

平成二十年 年頭の御挨拶



新発田商工会議所
会頭
佐藤 哲也

新年明けましておめでとうございます。

さて、現在企業を取り巻く経営環境は、原油の高騰による原材料価格の上昇により、企業経営に直接的な影響が開始しております。

特に中小零細企業においては価格転嫁など大企業のようなことはできず、経営に直接的な影響が開始しております。そうでなくとも、地方における景況の回復感が未だない中で、更に追い討ちをかけている状況にあると思います。また、全国的に企業の開業



新発田市長
片山 吉忠

明けましておめでとうございます。

平成二十年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、七月十六日に「中越沖地震」が発生し、多くの尊い人命が失われたほか、家屋の倒壊、道路・鉄道の損壊等の被害が生じ、現在も多くの方々が不便

率に比べ経営者の高齢化等により廃業率が高くなってきており、このことから企業存続のための重要課題でもある「事業承継問題」については、中小零細企業においては非常に重要な課題であるとともに、地域経済にとっても「伝統や文化の継承」や「雇用問題」そして「中心商店街の衰退」等につながる大変重要な課題と捉えております。

このような中、当商工会議所としては、従来より市と連携し進めてまいりました中心商店街における活性化事業の「まちの駅」や敬和学園大学が運営する「まちの駅ろず」などを市が設置した「たまり駅」とも併せ、更にソフト面での事業充実を関係する方々と連携し推進して行きたいと考えております。また、商工会義所の基本施策であります商工業者への振興事業についても、金融・税務・労働を基本に、相談者の

な生活を強いられております。改めて亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。この地震の地域経済に与えた影響を考えると、被災地における生産・営業設備等の直接的影響のみならず、被災地以外での風評被害による二次的影響も広がったことにより、観光地を抱える当市においても、少なからず影響を受けたものと思われまます。そんな中、地域経済の状況に目を向けましても、いまだ

ニーズに沿ったよりきめ細かな支援体制の充実を図ってまわりたいと思っております。特に、新規創業や経営革新・工業関係企業間での事業マッチングなどの分野についても当商工会議所に設置されており「新発田ローカル支援センター」を中心に関係機関や近隣商工会との連携をもと進めて行きたいと考えております。

次に、提言・要望活動については、商工会議所があらゆる規模・業種を通じた多くの会員で構成されていることから、地元各業界の抱える課題についても業種ごとに会議所会員で組織される部会等を通じて積極的にくみ上げ、行政や関係機関に対して提言・要望活動を推進して行きたいと思っております。また、「税制改正」や「地方幹線道路整備促進」「事業承継問題」など全国的な政策課題については上部団体であ

に景気回復の兆候が見られず、これに追い討ちをかけるかのようになり、原油価格の高騰が続いております。これらの状況は、企業収益の圧迫・物価上昇・個人消費の低迷を誘発し、企業活動のみならず、市民生活にも重大な影響を与えているものと思われまます。このように、地域経済全体の停滞感には否めず、景気の先行きはまだまだ不透明であると言えるのではないのでしょうか。このような状況の中で、当市といたしましても、足元の景気回復を確固たるものとし、

ります日本商工会議所を通じて国や自治体への要望・提言活動を行ってまいります。従来から取り組んでおります「まちづくり」については「県立新発田病院跡地活用」が今後、城下町新発田において非常に重要な位置をなすものと考えられることから、当所でも平成二十一年に提唱した「新世紀城下町都市ヴィジョン」を基にまちづくり特別委員会にて、より良い活用策について検討して行きたいと思っております。

最後に、今年も課題は多岐にわたりますが「地域総合経済団体」としての商工会議所は、地域に密着し柔軟な調整力ある街となり、新発田が魅力ある街となる事業を実施して行きたいと思っておりますので、皆様よりのご支援・ご協力をお願いいたします。年頭にあたっての御挨拶といたします。

将来にわたり地域経済の活力を維持し続けられるよう、中小企業向け制度融資などの各種経済施策の充実や新しく生まれ変わった新発田駅前区域や既存施設の活用による中心市街地の活性化に全力で取り組む所存であります。今後も、佐藤新会頭を始め、皆様方のなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。結びに、新発田商工会議所のますますの飛躍と、会員の皆様のご多幸を心から祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。